

令和7年度（2025年度）

宮 崎 大 学 大 学 院
地域資源創成学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

一般選抜
社会人選抜
外国人留学生入試

令和6年（2024年）6月

宮崎大学大学院地域資源創成学研究科

目 次

【地域資源創成学研究科の概要】	2
【地域資源創成学研究科アドミッション・ポリシー】	3
【地域資源創成学研究科学生募集要項】	
1. 入試日程	5
2. 募集人員	5
3. 入学者選抜方法	6
I. 一般選抜	
II. 社会人選抜	
III. 外国人留学生入試	
4. 研究指導教員一覧	15
5. 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例	17
6. 長期履修学生制度	17
7. 教育用ノートパソコンの必携について	17
8. 障がい等のある入学志願者の事前相談	18
9. 入学手続	19
10. 入学料及び授業料	19
11. 奨学金	20
12. 学生寄宿舍の入居	20
13. 在学中の保険制度	20
14. 個人情報の取り扱いについて	21
15. その他	21
16. 試験場	22

地域資源創成学研究科の概要

1 理念・目的

地域学、地域資源論、地域資源利活用論の3つの領域で構成される教育研究を通じ、地域に賦存する多様な地域資源の利活用から新しい創造的価値の創出を行い、今後の社会経済環境の変化に対応可能な強靱で持続可能な地域社会の形成を推進・実現することが可能な高度な専門性を確保した人材養成を目指す。

2 専攻

地域資源創成学専攻（修士課程）

3 修得を目指す高度な専門性及び養成する人材像

【修得を目指す高度専門性】

①異分野融合・複合の研究開発を推進できる修士相当の高度な学際的専門性

本研究科では、本学の異分野融合・複合に向けた取組成果をより一層進展させ、学内の学部・研究科間の連携強化を図りながら、自然科学、人文科学、社会科学の各系統から「地域資源創成学」の学域化の取組の一層の拡充を図る。そして「地域資源創成学」の学域の教育研究プログラムを通じ、地域資源創成に係る高度な学際的専門性を修得することを目指す。

②優れたソリューションを創発できる修士相当の高度な実務的専門性

本研究科では、学生が地域資源創成学を基盤とし、学術成果を優れたソリューションとして社会に定着・普及することができる高度な実務的専門性を修得することを目指す。

③第一線社会の技術・経験を体系化・理論化できる修士相当の高度な学術的専門性

本研究科では、地域課題に向き合う企業、地域社会、行政等との接続性をいかし、本県をはじめ全国の“課題解決”先進地域が有する技術・経験等の高度な専門実務の利活用に係る学術的な体系化・理論化に係る調査研究をより一層推進する。そして、それらの成果を生かした教育研究プログラムを通じ、学生が地域資源創成に係る第一線社会の技術・経験に関する学術的な体系・理論についての高度な学術的専門性を修得することを目指す。

【養成する人材像】

①地域的・社会的課題を解決するためのイノベーション創発が可能な高度人材

本研究科では、地域的・社会的課題を専門的な知識・能力に基づき多角的・複眼的視点から分析できる俯瞰力を学修するとともに、自立的・主体的な課題解決能力や地域の組織・人材を牽引できるリーダーシップ力の確保や、社会に貢献する高い志と意欲の涵養を図り、地域的・社会的課題の解決に有効なイノベーションを創発することができる高度な実務人材の養成を目指す。

②企業・産業・地方自治体等の包括的なマネジメントを担うことが可能な高度人材

本研究科では、企業・産業・地方自治体等の経営者・理事者のマネジメントを支え、その改善や改革の原動力となることができる、高度で包括的なマネジメントを担う高度な実務人材の養成を目指す。

③異分野・多分野を融合・複合させて新たな地域価値・資源価値を創出できる高度人材

本研究科では、学術的な体系や理論に基づき、地域が進める新たな地域価値・資源価値を創出する取組を支援し、持続可能な地域社会の実現に教育研究の分野から貢献できる「地域資源創成学」に係る高度な学術研究分野の人材の養成を目指す。

地域資源創成学研究科アドミッション・ポリシー

1. 教育理念（教育理念・目標、育成する人材像）

地域学、地域資源論、地域資源利活用論の3つの領域で構成される教育研究を通じ、地域に賦存する多様な地域資源の利活用から新しい創造的価値の創出を行い、今後の社会経済環境の変化に対応可能な強靱で持続可能な地域社会の形成を推進・実現することが可能な高度な専門性を確保した人材養成を目指す。

2. 入学者受け入れ方針（求める人材像）

本研究科では、学部教育の専門性・実務性をさらに深化させ、専門性の高い分野で高度で先端的な地域資源創成に係る大学院教育を行うこととする。また、企業・産業・地方公共団体・地域社会等が有する地域課題・実務的課題の具体的解決に資する大学院教育を行うこととする。

したがって、本研究科では以下のような人材を積極的に受け入れることとする。

- (1) 社会的・地域的課題を解決するためのイノベーションの創発に関する学士相当の専門的・実務的な知識・能力を有し、かつ意欲を有している人
- (2) 企業・産業・地方公共団体等のマネジメントを改善・改革するための学士相当の専門的・実務的な知識・能力を有し、かつ意欲を有している人
- (3) 異分野を融合させて新たな地域価値、資源価値創出のための学士相当の専門的・実務的な知識・能力を有し、かつ意欲を有している人

3. 入学者選抜の基本方針

上記の「求める人材像」で示す能力を有する人を多面的・総合的に評価するために、以下のような基本方針にもとづいて入学者を選抜します。

- (1) 一般、社会人、外国人といった選抜区分に応じた試験を実施します。
- (2) すべての選抜区分において、出願書類審査及び面接試験を実施します。
- (3) 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します。

[選抜区分による選抜方法及び評価の観点]

① 一般選抜

入学者の選抜は、専門試験（筆記試験）、面接試験及び書類審査の結果を総合的に判断して行います。

専門試験（筆記試験）では、主として本研究科の教育課程を学修する能力、計画した研究を遂行する能力を評価します。

面接試験では、主体性、コミュニケーション能力、課題解決力、学習意欲、研究意欲を評価します。

書類審査では、知識・能力、主体性、課題解決力、学習意欲、研究意欲を評価します。

② 社会人選抜

入学者の選抜は、専門試験（口述試験）、面接試験及び書類審査の結果を総合的に判断して行います。

専門試験（口述試験）では、主として本研究科の教育課程を学修する能力、計画した研究を遂行する能力、社会人としての専門知識・技能を評価します。

面接試験では、主体性、コミュニケーション能力、課題解決力、学習意欲、研究意欲を評価します。

書類審査では、知識・能力、主体性、課題解決力、学習意欲、研究意欲を評価します。

③ 外国人留学生入試

入学者の選抜は、小論文、面接試験及び書類審査の結果を総合的に判断して行います。

小論文では、主として本研究科の教育課程を学修する能力、計画した研究を遂行する能力を評価します。

面接試験では、主体性、コミュニケーション能力、課題解決力、学習意欲、研究意欲を評価します。

書類審査では、知識・能力、主体性、課題解決力、学習意欲、研究意欲を評価します。

地域資源創成学研究科募集要項

1. 入試日程

区 分	1 次 募 集	2 次 募 集 (※)
出願期間	令和6年(2024年)7月22日 (月) ~ 7月25日(木)	令和6年(2024年)12月2日(月) ~ 12月5日(木)
試 験 日	令和6年(2024年)9月2日(月)	令和7年(2025年)1月11日(土)
合格発表	令和6年(2024年)9月13日(金)	令和7年(2025年)1月31日(金)

※1次募集で合格者が募集人員に満たない場合、2次募集を実施します。実施する場合は、本学ウェブサイトにて発表します。

※上記の入試日程は、自然災害等のため、変更する場合があります。変更がある場合は、本学ウェブサイト (<http://www.miyazaki-u.ac.jp/atrium/news/>) にて発表しますので、適時確認してください。

2. 募集人員

専 攻	選 抜 区 分	募 集 人 員 (※)
地域資源創成学専攻	{ 一般選抜 社会人選抜 外国人留学生入試 }	5人

※選抜区分毎に定員はありません。

3. 入学者選抜方法

(1) 出願資格

I 一般選抜

次の各号のいずれかに該当し、地域資源創成に高い関心や地域課題に係る一定の知識を有する者。

- ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び令和7年(2025年)3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構)から学士の学位を授与された者及び令和7年(2025年)3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年(2025年)3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年(2025年)3月までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年(2025年)3月までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示5号)
- ⑦ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本研究科が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑧ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年(2025年)3月までに修了見込みの者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者にあつては、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時まで22歳に達する者

II 社会人選抜

上記①～⑩の出願資格のいずれかに該当する者で、地域資源創成に高い関心や地域課題に係る豊富な知識を有し、社会人活動と教育研究の両立が可能な者、かつ、受験日が属する年度末までに企業、各種団体、官公庁などの組織において2年以上の実務経験を有する者。

III 外国人留学生入試

上記③、④、⑦及び⑧の出願資格のいずれかに該当する者で、日本国籍を有せず、在留資格が「留学」の者。(日本の大学を卒業又は卒業見込みの者並びに日本の専修学校の専門課程を修了又は修了見込みの者は、外国人留学生入試への出願は出来ません)

(2) 出願資格審査等

出願資格のうち、⑦、⑨、⑩により出願する者は、事前に出願資格の審査を受け、出願資格を有することを認定された者のみ出願することができますので、地域資源創成学部教務・学生支援係に問い合わせの上、次の書類を提出してください。

1) 出願資格審査に必要な提出書類

i. 出願資格⑦、⑨により出願しようとする場合

提出書類	摘要
出願資格認定申請書	本研究科所定の様式
在学証明書もしくは最終学校の卒業(見込)又は修了(見込)証明書	出身学校の長が作成したもの(授業内容一覧がわかる履修の手引きを含む)
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
志望理由書	任意の様式(400字以内で作成)
研究計画書	本研究科所定の様式

ii. 出願資格⑩により出願しようとする場合

<提出書類>

提出書類	摘要
出願資格認定申請書	本研究科所定の様式
在学証明書もしくは最終学校の卒業(見込)又は修了(見込)証明書	出身学校の長が作成したもの
成績証明書	出身学校の長が作成したもの
志望理由書	任意の様式(400字以内で作成)
研究計画書	本研究科所定の様式
業績報告書	本研究科所定の様式

2) 受付期間

- 1次募集：令和6年(2024年)6月28日(金)16時必着
2次募集：令和6年(2024年)11月15日(金)16時必着

3) 提出方法

- ア. 持参する場合は、土曜・日曜・祝日を除く9時から16時までとします。
イ. 郵送する場合は、「書留速達」とし、封筒の表に「出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。
なお、受付期間内に到着しない場合は、受理しませんので、郵便事情を考慮のうえ、余裕をもって送付してください。

4) 認定方法及び結果通知

出願資格の認定結果は、提出書類に基づき審査し、下記の期日までに本人に通知します。

- 1次募集：令和6年(2024年)7月12日(金)
2次募集：令和6年(2024年)11月29日(金)

5) 問い合わせ先・提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学地域資源創成学部教務・学生支援係 TEL:0985-58-7847
--

(3) 出願前の指導教員との事前相談

出願する前に、必ず希望する指導教員と相談を行っていただきますので、下記の手順を踏まえ行ってください。(事前相談を行わない場合は出願を認めません。)

【事前相談の手順】

1. 希望する指導教員を確認し、地域資源創成学部教務・学生支援係 (c-kyoumu@of.miyazaki-u.ac.jp) に「出願前の事前相談票」を提出する。(様式は本学ホームページ (<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/selection/chiiki.html>))
2. 地域資源創成学部教務・学生支援係より、事前相談の日時等について連絡するので確認する。
3. 定められた日時等で事前相談を行う。

(4) 出願手続

1) インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

本学の出願方法は、Web 出願のみとなっています。また、学生募集要項の紙媒体(冊子)での配布は行いません。

＜注意＞

Web 出願システムで、出願情報を入力・登録し、検定料を支払う(以下、「Web 出願登録という。」)だけでは、出願完了とはなりません。出願期間内に「2. 提出書類」の窓口への持参又は郵送(出願期間内に必着)を済ませ、内容に不備がなかった場合、出願完了となります。

① Web 出願システムについて

Web 出願システムへは、本学 Web サイト

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/webapply.html>

からアクセスし、Web 出願登録を行ってください。



※Web 出願システム登録の事前登録期間として、第1次募集は令和6年(2024年)7月2日(火)から、第2次募集は令和6年(2024年)11月26日(火)から事前に登録可能です。なお、インターネット出願登録サイトにおいて出願情報の登録を完了しただけでは、出願手続きが完了したことにはなりません。その後、入学検定料を支払い、上記の受付期間内に、「2. 提出書類」を全て持参または郵送することで出願が完了となります。

【Web 出願の流れ】



②検定料の支払いについて

ア 検定料 30,000 円

- ・検定料に加えて、支払方法に応じたシステム利用料が必要です。クレジットカード決済は1,050円、コンビニ決済及びPay-easy決済は400円です。

※本学の指定する激甚災害により被災した志願者については、検定料免除の特別措置を希望することができます。出願前に必ず宮崎大学地域資源創成学部教務・学生支援係

へ連絡してください。

※激甚災害により被災した志願者の入学検定料の免除について
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-menjo.html>



イ 支払方法

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy 決済が利用できます。

(注) 支払いが完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払い前に入力した情報（特に、出願先や住所）に間違いがないか確認してください。

ウ 出願手続完了及び受験票の印刷について

出願手続きが完了した方には、試験日の2週間前に、Web 出願システムより受験票の印刷が可能になった旨を出願登録で登録したメールアドレス宛に送りますので、必ずWeb 出願システムにログインし確認してください。A4判で印刷して試験当日必ず持参してください。試験日の2週間前以降に受験票が確認できない場合には、宮崎大学地域資源創成学部教務・学生支援係へ連絡してください。

③ インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項

- ア 入学検定料の支払い方法を確認してください。クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy 決済で支払い可能です。
- イ 電子メールアドレスが必要です。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。）
- ウ 受験票及び写真票に使用する写真データが必要です。上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBサイズのjpg 又はpng データを8ページに記載されているWeb 出願システムにアップロードしてください。
- エ A4サイズ用の紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷することになります。）

2) 提出書類

インターネット出願登録完了後、定形封筒（角形2号）に次の書類等を入れて提出してください。志願票、写真票、履歴書、志望理由書以外の提出書類様式については、本学ホームページからダウンロードしてください。

(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/graduate-exam/selection/chiiki.html>)

出願書類	提出該当者	摘要	様式
志願票	全員	インターネット出願登録及び入学検定料支払い後、A4用紙に印刷したもの。 <u>検定料支払い後は、登録内容は変更できませんので支払い前に間違いがないか十分確認してください。</u>	
履歴書	全員		
志望理由書	全員	検定料支払い後、Web出願システムの必要書類から入力し、A4用紙に印刷したもの。400字以内とする。 <u>登録後は、登録内容は変更できませんので、間違いがないか十分確認してください。</u>	
研究計画書	全員	本要項所定の様式に記入すること（A4サイズ2枚以内とする）	様式1
卒業（修了）証明書、又は卒業（修了）見込証明書	全員	最終学校の学長又は学校長が作成したもの	
成績証明書	全員	最終学校の学長又は学校長が作成したもの（編入学をしている場合は、編入以前の成績もわかるもの）	
学位授与証明書	該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構が作成したもの ※学位授与見込みの者は、学位を申請する予定である旨の証明書（様式任意）を提出すること	
受験承諾書	該当者のみ	本要項所定の様式に、在籍している大学院の学長又は研究科長、あるいは所属先の責任者が記入・押印したもの	様式2
在留資格を証明する書類	外国人留学生入試を希望する者	在留カードの写し（両面）、住民票の写し、又はパスポートの写しのいずれか	
日本留学試験の受験票の写し	外国人留学生入試を希望する者	「令和5年度（2023年度）もしくは令和6年度（2024年度）日本留学試験」の受験票の写し	
出願資格認定書	該当者のみ	個別の出願資格審査を受け、認定を証明する書類の写し	
提出書類郵送宛名書き用紙	全員	本要項所定の様式に必要事項を記入し、定形封筒（角形2号）に貼付のうえ書類を持参あるいは郵送すること	様式3

<注意事項>

- ・提出書類に不備がある場合には、受理しないことがありますので十分に注意してください。
- ・受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還及び記載事項の変更を認めません。ただし、連絡先（現住所や電話番号など）に変更が生じた場合は、速やかに連絡してください。
- ・提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。
- ・入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ・出願時に海外に居住する者で入学を志願する者は、身元引受人（日本在住の者）の承諾書（様式任意）を提出してください（郵便物は当該身元引受人へ送付します）。
- ・出願書類を受理した後は、以下の場合を除き、振込済みの検定料は返還いたしません。
 1. 検定料を振り込んだが、提出書類を郵送又は持参しなかった場合
 2. 検定料を振り込んだが、提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合
 3. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

【返還請求の方法】

検定料返還請求書（返還請求書理由、氏名（フリガナ）、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ）を明記したもの）を作成し、以下へ令和7年（2025年）3月31日（必着）までに速やかに郵送してください。様式については、下記のURLを確認し、ダウンロードしてください。なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和7年（2025年）4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

※入学検定料返還手続きについて

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-henkan.html>

【請求先】

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係 TEL：0985-58-7122



3) 出願期間

【出願期間】

- 1次募集 令和6年（2024年）7月22日（月）から7月25日（木）16時まで
- 2次募集 令和6年（2024年）12月2日（月）から12月5日（木）16時まで

- i. 持参する場合は、土曜・日曜・祝日を除く9時から16時までとします。
- ii. 郵送する場合は、「書留速達」とし、上記期間内必着とします。
なお、期間内に到着しない場合は、受理しませんので、郵便事情を考慮の上、余裕をもって送付してください。

4) 出願書類提出先

2) の提出書類を一括とりそろえ、定形封筒（角形2号）に入れてください。封筒には、所定の様式「提出書類郵送宛名書き用紙」に必要な事項を記入し、貼り付けの上、期間内に持参もしくは郵送で提出してください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学地域資源創成学部教務・学生支援係 TEL：0985-58-7847

5) 出願完了の連絡

全ての書類が受理されたら、提出した志願票に記載されているメールアドレスに出願が完了した旨を連絡します。1次募集は7月29日(月)、2次募集は12月9日(月)までに連絡がない場合は、お手数ですが地域資源創成学部教務・学生支援係 (c-kyoumu@of.miyazaki-u.ac.jp) までご連絡ください。

(5) 選抜方法

1) 共通事項

各選抜区分の共通事項として、面接試験・出願書類審査を行い、アドミッション・ポリシーに掲げた能力・資質を有しているかを審査します。

試験科目	摘要
面接試験	<p>今後の研究計画について、<u>プレゼンテーション資料を事前に準備し、試験当日にノートパソコンを持参して発表</u>してください。下記の観点等をもとに総合的に審査します。また、作成した資料を紙に印刷し、<u>試験当日10部持参</u>してください。なお、発表時間は10分程度とし、その後、質疑等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施可能な計画か ・論理的内容か ・本大学院の内容としてふさわしいか ・地域への波及効果が期待できる計画であるか ・異分野融合の発展に資する計画であるか 等
出願書類審査	<p>志望理由書・研究計画書、成績証明書から、下記の観点等をもとに総合的に審査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施可能な計画か ・論理的内容か ・本大学院の内容としてふさわしいか ・地域への波及効果が期待できる計画であるか ・異分野融合の発展に資する計画であるか ・学部教育等で優秀な成績を修めるとともに、本研究科に求められる研究能力を有しているか 等

(注) プレゼンテーションの実施方法等の詳細は以下のとおりです。

- ・プレゼンテーションは、ノートパソコンのプレゼンテーションソフト(パワーポイントなど)で行なってください。
- ・接続トラブルに備え、予備のノートパソコンとプロジェクタを接続するケーブルはこちらで用意しますが、プロジェクタの接続端子はHDMIですので、必要な変換コネクタは持参してください。
- ・プロジェクタ接続時のトラブルに備え、発表のデータを入れたUSBメモリを持参してください。
- ・試験中は持参したノートパソコンのインターネットへの接続はできません。
- ・ノートパソコンを持参することが困難な場合は、試験日の1週間前までに地域資源創成学部教務・学生支援係 (c-kyoumu@of.miyazaki-u.ac.jp) にご相談ください。
- ・プレゼンテーション資料のデータを8月29日(木)までに地域資源創成学部教務・学生支援係 (c-kyoumu@of.miyazaki-u.ac.jp) にご提出ください。提出の際は、必ず **PDF形式**で提出してください。

2) 選抜区分別

I 一般選抜

一般選抜は、上記の面接試験、出願書類審査、及び専門試験を総合して行います。

試験科目	摘要
専門試験 (筆記試験)	希望する指導教員の教育研究分野について出題し、本研究科の教育課程を学修する能力等を審査する。

II 社会人選抜

社会人選抜は、上記の面接試験、出願書類審査、及び専門試験を総合して行います。

試験科目	摘要
専門試験 (口述試験)	希望する指導教員の教育研究分野について出題し、本研究科の教育課程を学修する能力、社会人としての専門知識・技能等を審査する。

III 外国人留学生入試

外国人留学生入試は、上記の面接試験、出願書類審査、及び小論文を総合して行います。

試験科目	摘要
小論文	特定の課題を出題し、小論文（日本語）を作成させ、本研究科の教育課程を学修する能力等を審査する。

(6) 試験日程及び試験場等

入学試験日	試験時間	試験区分	試験場
【1次募集】 令和6年(2024年) 9月2日(月)	60分	専門試験 (筆記試験) 小論文	宮崎大学 教育学部・地域資源創 成学部実験研究棟 (木花キャンパス)
	1人15分程度	専門試験 (口述試験)	
	1人20分程度	面接試験	
【2次募集】 令和7年(2025年) 1月11日(土)			

※試験当日は受験票、ノートパソコン、面接で使用するプレゼンテーション資料(10部)を必ず持参してください。

※試験当日の集合時間は、9時を予定しております。詳細は、試験の2週間前までにメールでお知らせします。集合時刻までに集合場所へ到着し、受付を済ませてください。指定時刻までに集合できない場合、筆記試験では、原則、試験開始後30分までは受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。口述試験、面接試験では、遅刻した場合、受験を認めません。

(7) 合格発表

【合格発表日時】

1次募集 令和6年(2024年)9月13日(金)10時

2次募集 令和7年(2025年)1月31日(金)10時

合格者の受験番号を本研究科ウェブサイト (<https://www.miyazaki-u.ac.jp/atrium/>) に掲載するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続関係書類を郵送します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

<注意事項>

- ・出願資格において、卒業見込み又は修了見込み、学士の学位を授与される見込みにより出願したが、令和7年(2025年)3月までに卒業又は修了しなかった場合あるいは学士の学位を授与されなかった場合は、合格を取り消します。また、入学手続の際には確認できる証明書等の提出を求めます。

(8) 追加合格

入学手続予定者が入学定員に満たない場合は、追加合格者の決定を行う場合があります。

4. 研究指導教員一覧

地域資源創成学研究科において研究指導を行う教員の一覧です。

希望する指導教員を1名選び、必ず事前相談を行ってください。インターネット出願時に、「希望指導教員名」及び「事前相談日」を入力する必要があります。

ただし、指導教員による指導時間を確保するため、あるいは、各研究室の施設・設備上の制約のため、指導教員の受入人数に制限を設ける場合があります。

職位	教員名	研究領域	研究指導内容
		教育研究分野	
教授 Professor	丹生 晃隆 TANSHO, Terutaka	経済学	中小・ベンチャー企業による新事業創出に関する研究、ならびに、その実現のための地域産業振興政策および産業支援機関の役割に関する研究指導を行う。
		経営学（技術経営・ベンチャー）	
教授 Professor	谷田貝 孝 YATAGAI, Takashi	経済学	価値創造を目的とした実践・理論両面における組織政策（組織デザインおよび組織開発）に関する研究指導を行う。
		経営学（組織）	
教授 Professor	根岸 裕孝 NEGISHI, Hiroataka	経済学	持続可能な地域社会づくりに資する地域政策および地域経営に関する研究指導を行う。
		地域経営	
教授 Professor	杉山 智行 SUGIYAMA, Tomoyuki	経済学	企業のイノベーションに係る経済学的な理解、企業のイノベーションを支援する産業支援組織がその役割を果たすために必要な条件等の考察に関する研究指導を行う。
		産業政策	
准教授 Assoc. Prof.	片山 和希 KATAYAMA, Kazuki	経済学	地域社会の発展における自治体財政のあり方を構想することができる政策立案能力、社会・経済の動態、公共部門の政策、行財政の自治に関する研究指導を行う。
		財政学	
准教授 Assoc. Prof.	Lau Chung Ming	経済学	地域の中小企業の海外への進出についての新たな課題及び国際経営論に関する研究指導を行う。
		国際経営	
教授 Professor	西 和盛 NISHI, Kazumori	農学	食料・農業・農村における社会経済的な諸問題の解決に寄与するための農業経営管理や農産物マーケティングに関する研究指導を行う。
		食料経済学	
准教授 Assoc. Prof.	井上 果子 INOUE, Kako	農学	国内外における農村計画学及び内発的発展論・国際開発論に関する研究指導を行う。
		農村フィールド研究	

職位	教員名	研究領域	研究指導内容
		教育研究分野	
准教授 Assoc. Prof.	橋口 正嗣 HASHIGUCHI, Masatsugu	農学	作物における栽培環境および栽培方法が生育、収量、農産物の品質におよぼす影響についての研究や、新たな植物遺伝資源の発掘や作物開発のための諸特性の評価に関する研究指導を行う。
		栽培学	
准教授 Assoc. Prof.	山崎 有美 YAMASAKI, Yumi	農学	食資源を基軸とした地域活性化に資する食品機能解析に関する研究指導を行う。
		食品科学	
教授 Professor	足立 文美恵 ADACHI, Fumie	法学	離婚・相続をめぐる家族の法的問題に関する研究指導を行う。
		民法	
教授 Professor	桑野 斉 KUWANO, Hitoshi	法学	人口減少社会、地方分権社会に対応可能な地方自治体の政策及び経営に関する研究指導を行う。
		自治体経営	
教授 Professor	戸敷 浩介 TOSHIKI, Kosuke	工学	生活や産業活動に伴う廃棄物や環境負荷の問題とその対策に関する研究指導を行う。
		環境科学	
准教授 Assoc. Prof.	福島 三穂子 FUKUSHIMA, Mihoko	社会学	地域社会の様々な場面における相互行為を分析対象とし、質的方法論を分析手法とした研究指導を行う。
		相互行為	
准教授 Assoc. Prof.	松岡 崇暢 MATSUOKA, Takanobu	農学	日本の農山村が抱える様々な課題を解決するため、地域づくりを視野に入れ関係人口の活用、適切な資源管理、集落機能の補完に関する研究指導を行う。
		農村社会学	
准教授 Assoc. Prof.	古賀 修平 KOGA, Shuhei	法学	日本の雇用社会が抱える課題や現行の労働法制について、労働法学の観点から研究指導を行う。
		労働法	

5. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例

地域資源創成学研究科においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼夜開講します。

なお、受講時間及び研究時間は指導教員との協議の上、設定します。

6. 長期履修学生制度

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（修士課程2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

希望される場合は、授業料を納入する前に長期履修生としての申請手続きをすることになっています。授業料納入後の申請は認められませんので、注意してください。

詳細は、入学手続き時に送付する資料で確認してください。

7. 教育用ノートパソコンの必携について

宮崎大学では、すべての学生に対しノート型パソコンを必携としています。講義や実験のレポートや論文作成のほか、オンラインでの授業が開講されることがありますので、入学時に各個人でノートパソコンをご準備いただくようお願いします。

8. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に本学入試課へ相談してください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

(1) 相談期限

相談期限は、原則出願開始日の1ヶ月前までとします。

出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合は、早急に相談してください。

(2) 相談方法

本学のウェブサイトから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出(郵送可)してください。

- ア. 志願者氏名・志望専攻(専修・コース)
- イ. 障がい等の種類・程度
- ウ. 受験上、修学上の配慮を希望する事項
- エ. 出身大学でとられていた配慮事項
- オ. 日常生活の状況
- カ. 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

(3) 相談申請書掲載先

以下のURL先から相談申請書をダウンロードしてください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

(4) 相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学び・学生支援機構入試課 TEL 0985-58-7138 FAX 0985-58-2865

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥そ の 他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

9. 入学手続

合格者に対し、合格通知書と併せて入学手続関係書類を送付します。

【入学手続期間】

1次募集 令和6年(2024年)10月31日(木)17時まで(必着)

2次募集 令和7年(2025年)3月27日(木)17時まで(必着)

10. 入学料及び授業料

(1) 入学料：282,000円

(注1) 法令改正等により金額が変更になる場合があります。

(注2) 入学料については、免除及び徴収猶予の制度があります。詳しくは下記(3)及び合格者に送付する入学手続書類で確認してください。

(注3) 納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

i. 入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

ii. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

(2) 授業料：年額535,800円(前期分267,900円、後期分267,900円)

(注1) 授業料は、新学期開始後に納入していただくことになります。

(注2) 授業料については、免除の制度があります。詳しくは下記(3)及び合格者に送付する入学手続書類で確認してください。

(注3) 授業料の納入は、預金口座からの「口座振替」とします。

・前期の口座振替日は初年次は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

・後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。

詳しくは下記(4)で確認してください。

(注4) 授業料に改正があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注5) 在学中に授業料の改正が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注6) 長期履修生の授業料は、正規修業年限の授業料合計額を申請された履修年数で按分した額を年度毎に納入することになっています。

(3) 入学料・授業料免除等

入学料・授業料免除等に関する事項は以下のウェブサイトに記載しますのでご確認ください。

<<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/school-and-admissionfee/>>

(4) 授業料に関する事項

授業料に関する事項は以下のウェブサイトに記載しますのでご確認ください。

<<https://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/>>

(5) 問い合わせ先

<入学料・授業料について>

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学財務部財務課出納係 TEL: 0985-58-7122

<入学料・授業料免除等について>

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課経済支援係

E-mail: keizaishien@of.miyazaki-u.ac.jp

1 1. 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。

これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸付又は給付されます。

奨学金を希望する場合は、本学ホームページで確認してください。

[〈https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/〉](https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/)

【問い合わせ先】

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課経済支援係 E-mail : keizaishien@of.miyazaki-u.ac.jp

1 2. 学生寄宿舍の入居

学生寄宿舍に入居を希望される方は、11月上旬頃に公表される「学生寄宿舍入居申請要項」を下記請求方法のいずれかで入手の上、申請してください。(申請書類の提出期限は「学生寄宿舍入居申請要項」にて通知します。提出期限後の申請書は受理できません。)

(1) 請求方法

- i. 学生支援関係ホームページからダウンロード

[〈https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/campus-life/dormitory/〉](https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/campus-life/dormitory/)

- ii. 郵送による請求

返信用封筒(角形2号、本人の郵便番号・住所・氏名を明記し、140円分の切手を貼付したものを)を同封し、「学生寄宿舍入居申請要項請求」と朱書きの上、下記(2)の問い合わせ先まで郵送してください。

(2) 問い合わせ先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課学生支援係 TEL 0985-58-7142

1 3. 在学中の保険制度

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)及び学研災付帯賠償責任保険(略称「学研賠」)を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度です。

また、「学研賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせた場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

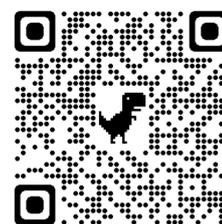
地域資源創成学研究所では、実験・実習などの教育活動を円滑に実施するため、全員加入していただいております。

14. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、入学料免除、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

15. その他

不明な点等がある場合は、右のQRコードまたは本学ホームページ (<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>) からアクセスし、画面上に現れる「もうくんチャットボット」へお問い合わせください。

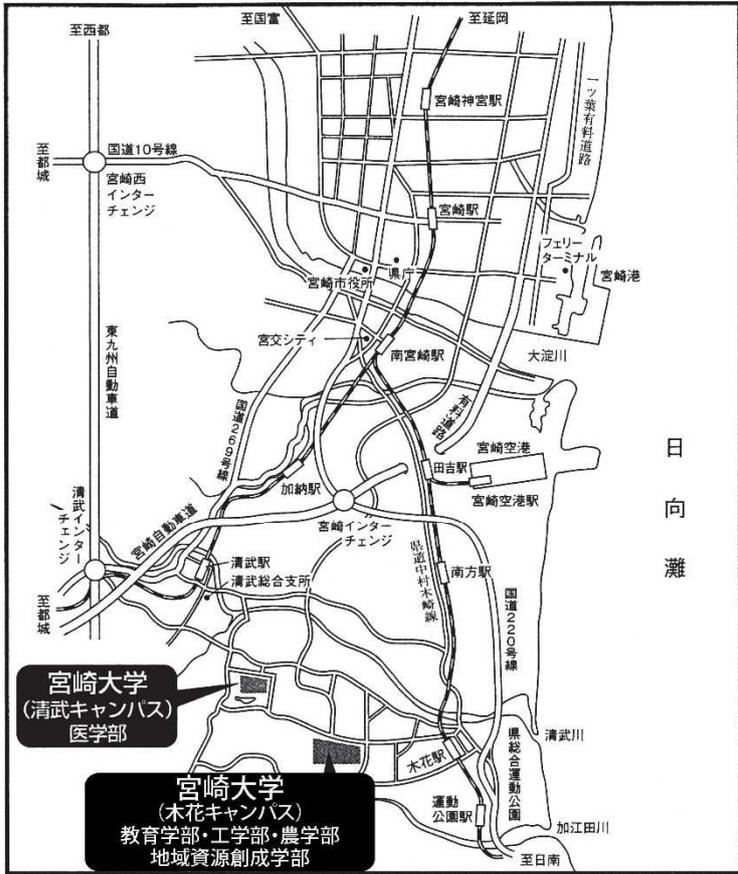
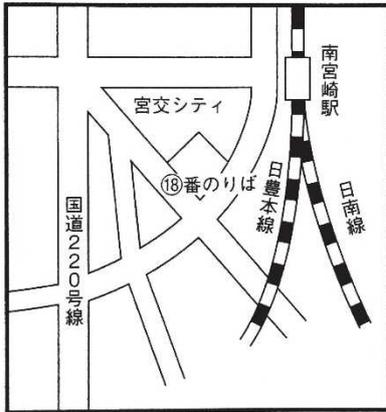


清武経由（宮崎交通832番線）
 宮崎駅バスセンター—宮交シティ—産経大入口—加納小入口—清武総合支所前
 —大学病院前（約40分） — 宮崎大学（約45分）
 ※医学部試験場で受験する人は「大学病院前」下車となります。

タクシー

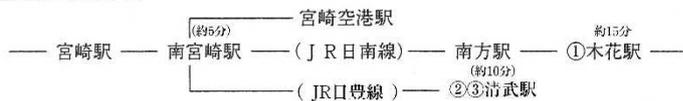
J R 宮崎駅から 約35分
 J R 木花駅から 約10分
 宮崎空港から 約20分
 J R 南宮崎駅から 約25分
 J R 清武駅から 約15分

宮崎大学位置図



交通案内

J R



※南宮崎駅の上段()番は、宮崎駅からの、木花駅及び清武駅の上段()番は、南宮崎駅からの所要時間を示す。

- ①木花駅下車→バス停「木花」利用（徒歩10分）→木花経由811番線→宮崎大学（約10分）
→大学病院前（約15分）
- ②清武駅下車→バス停「清武総合支所前」利用（徒歩10分）→
 { 清武経由832番線→大学病院前（約10分）
 →宮崎大学（約15分）
 まなび野経由822番線→大学病院前（約10分）
 →宮崎大学（約15分）
- ③清武駅下車→バス停「清武駅前」利用（徒歩5分）→清武経由832番線→大学病院前（約10分）
→宮崎大学（約15分）

バス

- ①木花台経由（宮崎交通811番線）
宮崎駅バスセンター—宮交シティ—国富小前—木花—宮崎大学（約40分）
— 大学病院前（約45分）
- ②まなび野経由（宮崎交通822番線）
宮崎駅バスセンター—宮交シティ—農高前—県立看護大学—清武総合支所前
— 大学病院前（約45分） — 宮崎大学（約50分）
- ③清武経由（宮崎交通832番線）
宮崎駅バスセンター—宮交シティ—産経大入口—加納小入口—清武総合支所前
— 大学病院前（約40分） — 宮崎大学（約45分）

※医学部試験場で受験する人は「大学病院前」下車となります。

タクシー

J R 宮崎駅から 約35分
 J R 木花駅から 約10分
 宮崎空港から 約20分
 J R 南宮崎駅から 約25分
 J R 清武駅から 約15分